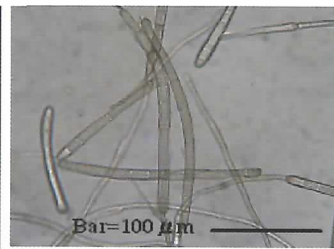


マンデビラ褐斑病とトウガン疫病の病原を明らかにしました

マンデビラ褐斑病



Corynespora cassiicola の分生孢子

トウガン疫病



Phytophthora capsici の遊走子のう

マンデビラ褐斑病とトウガン疫病の病原を日本で初めて明らかにしました。

マンデビラ・アモエナは、きれいな花が咲くつる性の常緑多年生の鉢花ですが、糸状菌(かび)のコリネスポラ・キャシイコーラ(*Corynespora cassiicola*)が、葉に斑点性の病害を引き起こすことを明らかにしました。

トウガンには、果実が暗緑色水浸状

に腐敗するトウガン疫病が発生することがありますが、これまで病原菌の種名が不明でした。

研究の結果、病原がフィトフトラ・キャプシイ(*Phytophthora capsici*)であることを明らかにしました。

病原菌が明らかになったことにより、今後は早急に防除技術の開発に努めます。(環境基盤研究部)